

第15回金沢大学アーチェリー一部OB会総会議事録

2015年10月31日

文責 齋藤 凌平

<質疑応答>

～OB会費について～

- ・射場の整備費用として、いつ頃までにいくら位のOB会費を使う予定なのか。
→現段階では決まっていない。現在は矢を購入する際の補助に使っている。

～中古の弓の取り扱いについて～

- ・部がOBから中古の弓を買い取り（一式2万円、要相談）、OBが道具を郵送する際、どこへ送ればよいのか。
→場所については未定。また、郵送費の補助をする予定である。
- ・中古の弓を買い取った場合、それをどのように使うのか。
→弓の状態にもよるが、練習弓として使うことも考えている。

～その他～

- ・全部員51人中、経験者は何人含まれるのか。
→全体で10人程度である。
- ・以前は湖南練習場や互いの大学を行き来して一緒に練習するなど、他大学との交流もあったが、現在はどうなっているのか。
→現在は大会などで顔を合わせる程度である。

<意見・提案>

～OBへの連絡方法について～

- ・現在、各代の代表が海外へ行ってしまいうなどしてOB会の連絡が上手くいかない場合がある。そこで、規約やOB会費などのOB会関連の連絡の際、facebookを通して行ってしまうか。グループを作って公開を制限すればセキュリティ上も問題なく、また写真などのアップロード・共有にも使うことができる。

～中古の弓について～

- ・中古の弓が足りていないということだが、男子用と女子用、それぞれどれ位足りていないのかが明確でない。まずは在庫確認を行い、現状を把握してOBへ連絡、その上で余分が出ないように留意しつつ、弓の買い取りを行ってはどうか。

～今後の活動について～

- ・部員増加は良いことである。だが、大会結果等を見ると全体のレベルはどの程度か、技術や弓の調整などのノウハウは先輩から後輩にしっかりと継承されているのかどうかといった点が気になる。そこで、部全体のスキルアップを目的とした技術グループを作ってはどうか。それに所属する部員が主体となって技術合宿等を通じて知識を蓄え、それを他の部員に伝えていくことで全体のレベルの底上げを図ることができる。
- ・次回の活動報告において、技術継承のためにしたことを内容に盛り込んで欲しい。